

令和2年5月18日

地区連合町内会長 各位

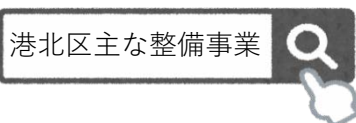
港北区区政推進課長

「令和2年度港北区内で行われる主な整備事業」及び
「令和2年度港北区運営方針」について（情報提供）

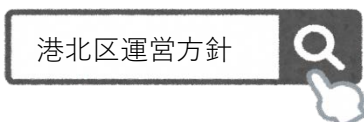
平素より、市政・区政への御協力を賜りまして、ありがとうございます。
今年度の「港北区内で行われる主な整備事業」及び「令和2年度港北区運営方針」についてお知らせします。

※それぞれ港北区ホームページでも御覧いただけます。

- ・ 令和2年度港北区内で行われる主な整備事業



- ・ 令和2年度港北区運営方針（令和2年5月1日策定）



担 当 港北区役所区政推進課

電 話：540-2229 F A X：540-2209

（主な整備事業に関すること）まちづくり調整担当 岡村・山本

（港北区運営方針に関すること）企画調整係 田村・木和田

令和2年度

港北区内で行われる主な整備事業



令和2年5月 港北区役所

目 次

■ 鉄道・道路・橋りょう

1	神奈川東部方面線の整備	1
2	グリーンライン混雑緩和策（6両化）	1
3	都市計画道路の整備	2
	(1) 綱島街道の拡幅	
	(2) 宮内新横浜線	
4	地域道路の整備（歩道拡幅・道路改良）	2
5	横浜北線関連工事	2
6	無電柱化推進	2
7	橋りょうの地震対策・新設検討	2
◇	道路位置図：都市計画道路	3
	：地域道路	4

■ まちづくり

1	新横浜都心部のまちづくり	5
2	新横浜駅南部地区のまちづくり	5
3	綱島駅東口周辺のまちづくり	6
4	日吉駅西口周辺のまちづくり	6
5	箕輪小学校の開校	6

■ 上下水道の整備

1	下水道の整備	7
	(1) 下水道管の整備・雨水幹線の整備	
	(2) 応急復旧活動拠点流末枝線下水道の耐震化	
	(3) 水再生センター等の整備	
2	上水道の老朽管更新・耐震化	7

■ みどり・環境

1	花と緑による魅力の創出	8
2	公園の整備・改良等	8

■ 施設

1	地域施設等の整備	9
	(1) 港北公会堂	
	(2) 綱島地区センター	
	(3) 篠原地区センター	
	(4) 港北スポーツセンター	
	(5) 新横浜駅交通広場	
2	教育施設整備事業	9
3	文化施設整備事業	9
4	区庁舎屋上の防水工事等	9

■ 鉄道・道路・橋りょう

1 神奈川東部方面線の整備

神奈川東部方面線の「相鉄・東急直通線」（羽沢横浜国大駅～日吉駅間）は、令和4年度下期の開業に向けて、引き続き新綱島駅（仮称）から日吉及び新横浜駅（仮称）方面に向けてそれぞれトンネル掘削工事等を進めます。

また、接続予定の市営地下鉄ブルーライン新横浜駅では、出入口移設等の駅改良工事を実施します。



神奈川東部方面線

整備延長：約12.7km
事業費：約4,022億円
整備主体：(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構

西谷～羽沢横浜国大間（相鉄・JR直通線）

整備延長：約2.7km
開業日：令和元年11月30日
営業主体：相模鉄道(株)

羽沢横浜国大～日吉間（相鉄・東急直通線）

整備延長：約10.0km
開業予定時期：令和4年度下期
営業主体：相模鉄道(株)、東京急行電鉄(株)

2 グリーンライン混雑緩和策（6両化）

平成20年の開業以来、沿線の人口定着が進んでいることなどから乗車人員が毎年増加傾向にあり、平成30年度は1日あたり約15万人のお客様に利用されています。一方で、それに比例するように混雑率も上昇を続け、令和元年度は朝ラッシュ時間帯の最混雑率が163%となっています。今後も沿線人口の増加が見込まれており、朝ラッシュ時間帯の混雑を緩和するため、グリーンラインの全17編成中10編成に2両増結し、段階的に6両編成化に取り組みます。令和2年度は、6両化に対応するための駅ホームの延伸工事に着手します。

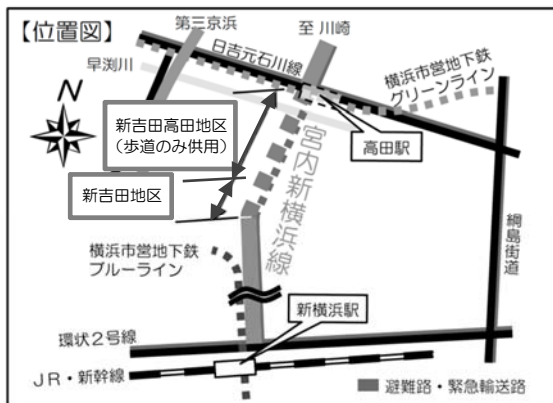
3 都市計画道路の整備 (P. 3 道路位置図)

(1) 綱島街道の拡幅

神奈川東部方面線新綱島駅(仮称)の整備の状況等を踏まえ、綱島駅交差点付近から北綱島交差点について、事業に着手しています。今年度は、境界確認や詳細設計、試掘工事等を進めます。

(2) 宮内新横浜線

3月に本線工事が完了した新吉田高田地区に引き続き、今年度は新吉田地区も含めた全線供用に向けて工事を進めます。



新吉田高田地区の歩道供用状況

4 地域道路の整備 (歩道拡幅・道路改良) (P. 4 道路位置図)

川向第39号線、下田第97号線、箕輪第161号線、綱島第243号線、東本郷第128号線については、測量や用地取得交渉等を行い、改良事業を進めます。東京丸子横浜線については、現地状況に合わせて改良工事を進めます。

5 横浜北線関連工事

横浜北線の馬場出入口(鶴見区)は、4か所の出入口のうち、2月に2か所の出口と法隆寺交差点側の入口が開通し、第三京浜道路及び湾岸線方面が利用できるようになりました。今年度は、未開通の内路交差点側の入口の整備と大田神奈川線の往復4車線への拡幅整備を進めます。

6 無電柱化推進

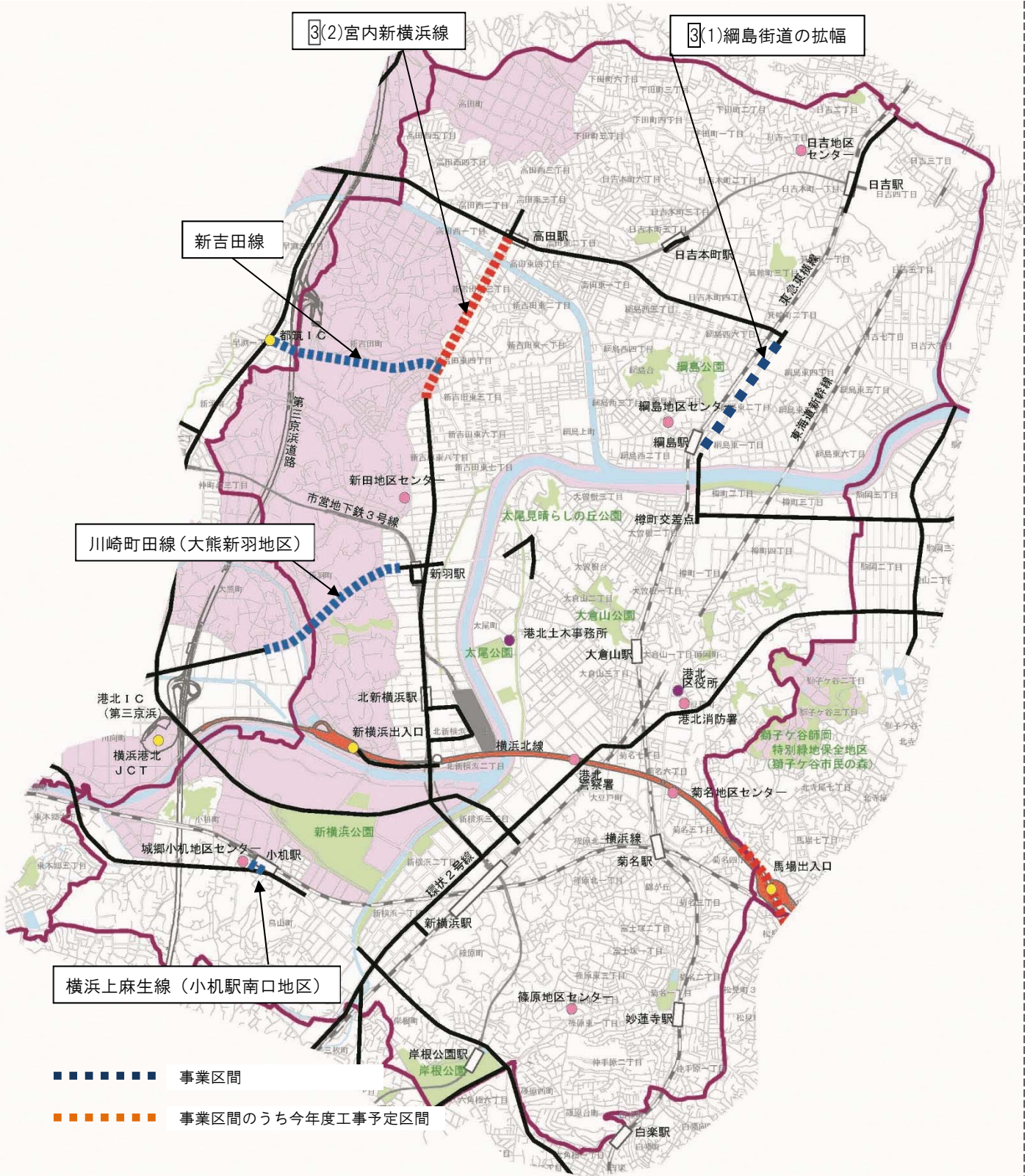
災害時の救急活動や応急復旧を速やかに展開できるよう、緊急輸送路である環状2号線について無電柱化を推進します。今年度は、設計や試掘工事を進めます。

7 橋りょうの地震対策・新設検討

倒壊や甚大な被害を防止する対策を進めています。今年度は、新横浜陸橋や吉田橋の耐震補強工事を進めます。

また、「新羽橋～新横浜大橋」間については、橋梁新設に向けた検討を進めます。

3 都市計画道路の位置図



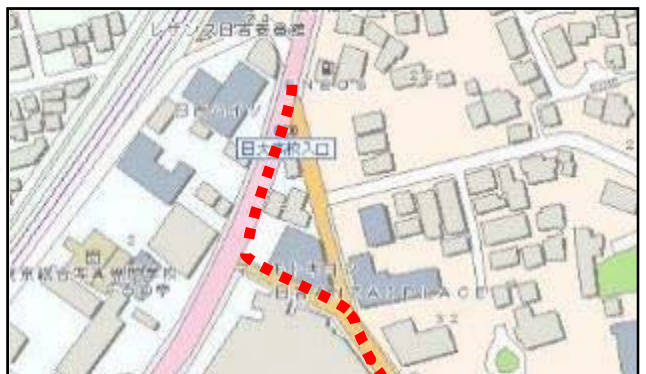
4 地域道路の位置図



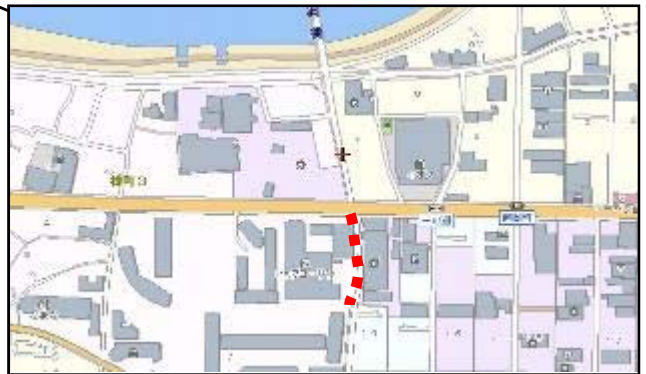
川向第 39 号線(大竹道路)



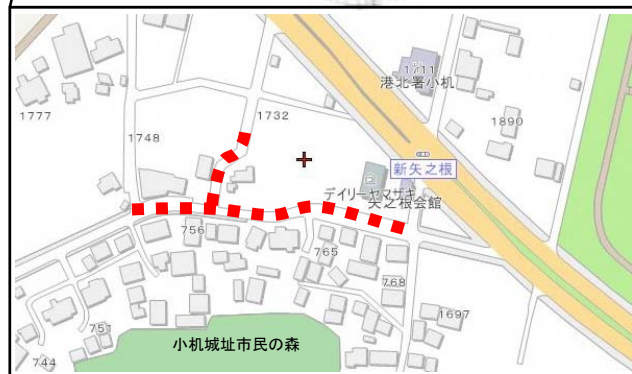
下田第 97 号線 (下田小西側)



箕輪第 161 号線 (日大高校入口交差点付近)



網島第 243 号線(ビッグヨーサン東側)



東本郷第 128 号線 (小机町 1746 付近)



主要地方道東京丸子横浜 (菊名 4 丁目交差点)

■ まちづくり

1 新横浜都心部のまちづくり

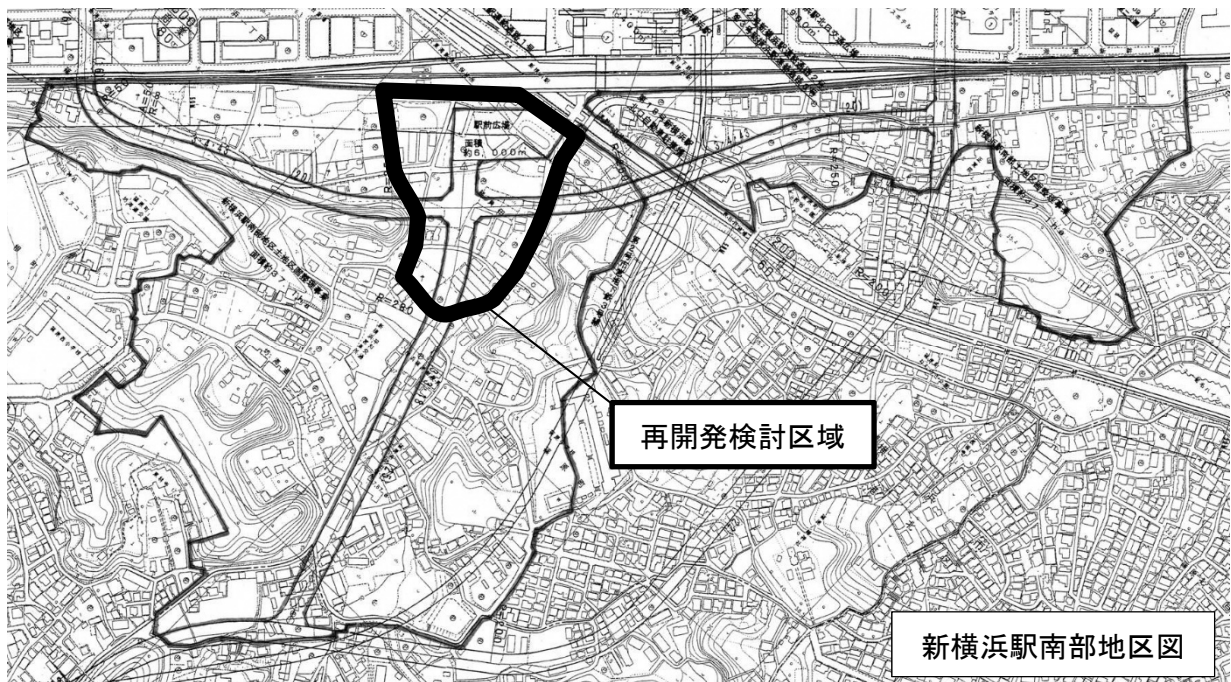
世界的なイベント開催、高速道路や新たな鉄道の開通など、大きな動きがある新横浜都心部（新横浜地区、新羽地区、城郷地区、羽沢地区）の今後のさらなる発展に向けたまちづくりの方向性や方策を示していきます。

今年度は、新横浜駅周辺の利便性向上など、都心機能強化の方策を検討します。

2 新横浜駅南部地区のまちづくり

新横浜駅南部地区では、土地区画整理事業を廃止して以降、地域の合意形成を重視して新たなまちづくり計画検討を進めています。

横浜線新横浜駅篠原口の直近では、平成 30 年 3 月に約 3.5 ヘクタールを対象とした市街地再開発準備組合が設立され、平成 31 年 3 月には事業協力者が決定しました。今年度は、再開発準備組合を引き続き支援するとともに、再開発と併せた道路等の基盤整備や都市計画道路の見直し等、まちづくり計画検討を進めます。

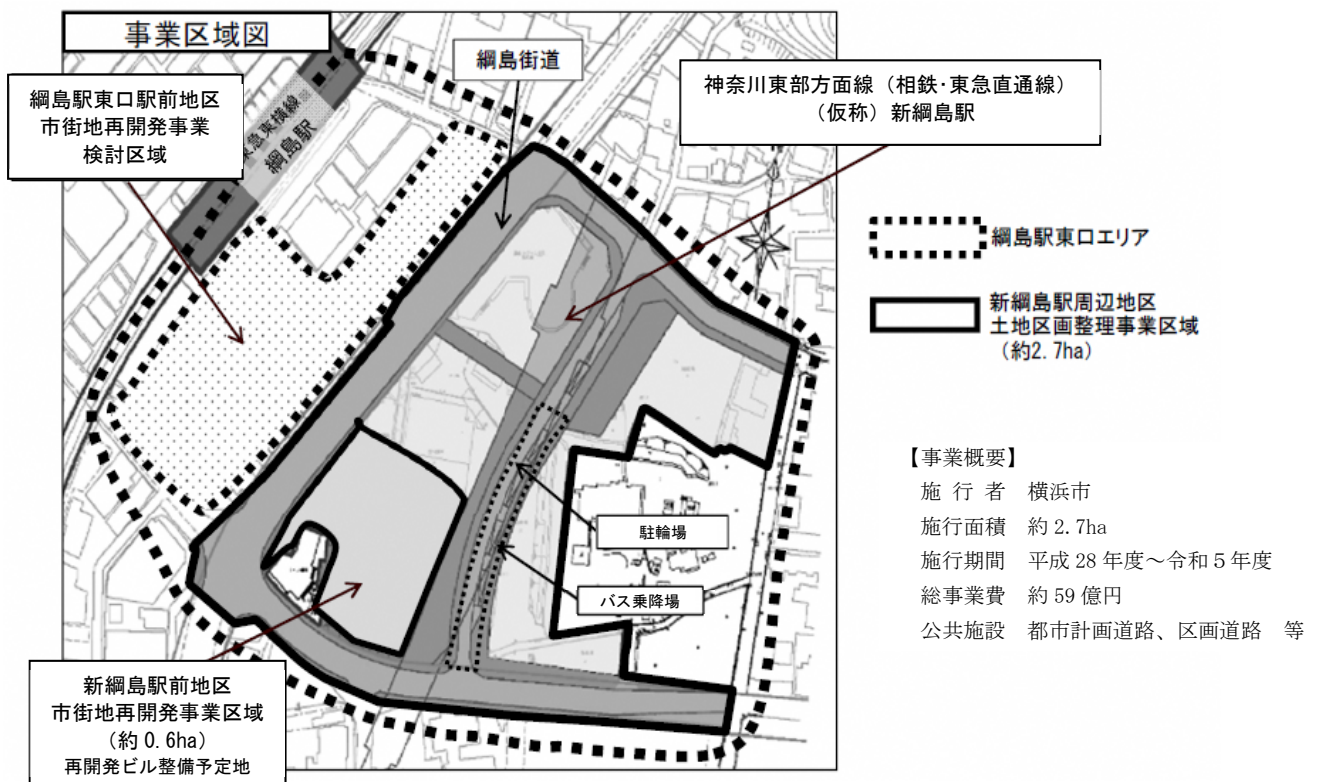


3 網島駅東口周辺のまちづくり

相鉄・東急直通線の新駅（新網島駅（仮称））整備を契機に、土地区画整理事業と市街地再開発事業を一体的に施行し、バス乗降場や道路等を整備するとともに、区民文化センターや商業施設、都市型住宅等からなる再開発ビルを整備し、新駅周辺にふさわしいまちづくりを進めています。

昨年度は、用地取得のほか、駐輪場の設計に向けた準備や再開発ビルの実設計、権利変換計画の作成を進めました。今年度も引き続き用地の取得を進めるとともに、駐輪場の設計を行います。また、再開発ビルについては、建築工事に着手します。

網島駅東口駅前地区でも市街地再開発事業を推進するため、今年度は、都市計画決定に向けた手続を進めます。



4 日吉駅西口周辺のまちづくり

日吉駅西口周辺において、歩行者が安全に通行できる歩行空間の確保等に向けたまちづくりの手法を検討します。今年度は、地域との意見交換や交通量調査等の現状分析と課題の整理を行います。

5 箕輪小学校の開校

4月1日に区内26校目となる箕輪小学校が開校しました。今年度は、校庭整備工事を行います。また、来年度からの地域防災拠点指定に向け、備蓄品配備の準備を進めます。

■ 上下水道の整備

1 下水道の整備

(1) 下水道管の整備・雨水幹線の整備

浸水被害を受けた地区を優先して、時間降雨量約 50mm に対応する整備を基本とし、人口や資産が集中する地盤の低い区域については、時間降雨量約 60mm に対応する雨水幹線等の整備を進めています。今年度は、新横浜駅前第二雨水幹線について、引き続き整備を行います。

(2) 応急復旧活動拠点流末枝線下水道の耐震化

災害時に港北区役所及び港北土木事務所のトイレが使用できるよう、その排水が流入する下水道管の耐震化を進めます。

(3) 水再生センター等の整備

港北水再生センターにおいて、耐用年数を超えて老朽化した覆蓋（水処理施設を覆う蓋）と処理施設の防食の更新を進めます。



▲港北水再生センターと鶴見川(航空写真)

2 上水道の老朽管更新・耐震化

昭和 40 年代に布設し、更新時期を迎えているこれらの管路を中心に、老朽化した配水管を計画的に耐震管に更新するとともに、新たな管網を整備します。

また、災害時に重要となる拠点施設につながる管路や腐食性土壌※に埋設されている管路については、優先的に更新し、効果的な耐震化や漏水事故の予防保全を図ります。

※腐食性土壌 … 100 万年前に海だった地層で、腐食性の強い粘土質の土壌



▲水道工事の市民向け PR(水道局リーフレット)

1 花と緑による魅力の創出★

新横浜駅周辺において、季節の花や緑の高質な育成管理により、街路空間等を彩ります。



2 公園の整備・改良等

新羽丘陵公園の拡張に向け、公園東側の園路整備の準備工事を行います。

また、新吉田さんかく公園ほか3公園で遊具などの施設改良工事を行います。

■ 施設

1 地域施設等の改修

市民が安心・快適に市民利用施設等を利用できるよう、以下の施設にて工事や設計を行います。

(1) 港北公会堂

大規模空間を有する既存建築物の天井脱落対策のための改修工事を行うほか、トイレ等の設備改修を行います。なお、港北公会堂は令和3年4月から利用再開の予定です。

(2) 綱島地区センター

昨今の夏の暑さ対策として、体育室に空調機を設置するため、空調設備設置工事を行います。

(3) 篠原地区センター

大規模空間を有する既存建築物の天井脱落対策のための体育室天井の基本設計を行います。

(4) 港北スポーツセンター

昨今の夏の暑さ対策として、体育室に空調機を設置するため、実施設計を行います。

(5) 新横浜駅交通広場

大規模空間を有する既存建築物の天井の脱落対策のための実施設計を行います。

2 教育施設整備事業

児童数の増加に対応するため、師岡小学校の校舎の増築工事に着手します。

3 文化施設整備事業

区民の皆様が身近に文化芸術に接し、個性豊かな文化芸術活動を活発に行うことができる環境整備のため、身近な拠点となる区民文化センターを新綱島駅（仮称）周辺地区における市街地再開発事業の中で整備します。令和5年度の開館に向けて、今年度は床の取得手続き等について、再開発組合との調整を進めます。

4 区庁舎屋上の防水工事等

屋上の防水工事及び区庁舎周辺花壇の再整備の設計に着手します。

発行：港北区役所 区政推進課 企画調整係

電話：540-2230 FAX:540-2209



令和2年度 港北区 運営方針



I 基本目標

活気にあふれ、人が、地域がつながる「ふるさと港北」

～区民の皆様の安心・安全を守り、ともに歩む区政～

II 目標達成に向けた施策

1 安心して暮らせるまちづくり

新型コロナウイルス対策において、正確な情報発信やリスクマネジメント、商店街等への支援を進めます。また、風水害時の避難行動に関する啓発、自助・共助による地域防災力向上などの災害対策を進めるほか、防犯、交通安全対策や道路・公園等の適切な維持管理を通じて、区民の皆様の安心・安全を支えます。

2 地域で支えあう福祉・保健のまちづくり

第4期地域福祉保健計画(ひっとプラン港北)の策定、子どもや子育て世代への支援の充実、地域包括ケアシステムの構築や障害理解への啓発に取り組み、子どもから高齢者、障害のある方など、誰もが暮らしやすく、ともに支え合い、つながりのある福祉・保健のまちづくりを進めます。

3 活気にあふれるまちづくり

商店街の活性化、地域のイベント、東京 2020 オリンピック・パラリンピックへの機運醸成など、地域のつながりや魅力を実感できる活気あふれるまちの未来に向けて取り組みます。

協働で進めるまちづくり

区民の皆様との共感と信頼の関係を土台に、地区担当制によるフットワークを生かしながら地域の課題を把握し、自治会・町内会、団体、NPO、企業の皆様とのつながりをさらに深め、協働による地域づくりを進めます。

III 目標達成に向けた組織運営

行動指針

～区民の皆様のために～

区民の皆様によりそう

私たちは、区民の皆様の安心・安全を第一に、区民の皆様の声を良く聴き、使命感を持って市政の最前線を担います。

協働と共創

私たちは、地域協働の総合支援拠点として、自治会・町内会、団体、NPO、企業の皆様と、ともに公共を創造します。

チーム力で応える

区民の皆様の声に対し、「何ができるか」「どうできるか」という視点で広く受けとめ、区職員全体の知恵を集めて対応します。

ベースとなる職員・職場の力

職員の力

一人ひとりが「5つの仕事力」を磨きます。

聴く力

区民の皆様の声を真摯に受け止め、ニーズを的確に把握します。

考える力

課題の本質を見極め、本来の目的にかなう解決策を考えます。

学ぶ力

常に業務知識を深める努力を続け、担当業務に精通します。

行動する力

課題解決のために、スピード感をもって、積極的に動きます。

伝える力

区民の皆様「伝える」ように、確かな説明力を磨きます。

職場の力

皆で活気にあふれる職場をつくります。

助け合う職場

課を越え、区を越え、「チーム横浜」の一員として、広い視野のもと、助け合います。

創造する職場

互いの知恵やアイデアを積極的に持ち寄り、新たな手法や施策の創造にチームで取り組みます。

おもてなしの職場

お客様目線による不断の業務改善や、応対スキルの向上に、職場をあげて取り組みます。

スマートな職場

地球環境に配慮しながら、徹底した事務の効率化に取り組み、ワーク・ライフバランスを実践します。

1 安心して暮らせるまちづくり

● 新型コロナウイルスへの対応

正確な情報発信やリスクマネジメント、商店街への支援、中小企業への支援策のコーディネート等を推進

● 災害に強いまちづくり

風水害時の避難場所の考え方や避難行動に関するリーフレットの作成、指定緊急避難場所を明示する案内表示板の設置、災害時の情報受伝達強化、防災アプリ機能性向上、在宅避難への意識醸成、避難生活における環境改善、災害時要援護者の支援、緊急輸送路・橋梁・下水道などの地震対策推進

● 防犯・交通安全対策の推進

地域主体の防犯活動を支援する「港北AAA(安全で安心な明日を)地域防犯力向上作戦」や、交通安全の啓発を行う「交通社会 無事故でカエル事業」、地域と連携した放置自転車対策などの実施、未就学児移動経路の安全対策

2 地域で支えあう福祉・保健のまちづくり

● 第4期「ひとつプラン港北」(地域福祉保健計画・地域福祉活動計画)の策定

身近な福祉保健課題の解決に向けて第4期地域福祉保健計画「ひとつプラン港北」の策定、現計画の推進

● 子育て支援の充実

保育所待機児童対策、地域子育て支援拠点及びサテライトの運営、放課後キッズクラブ及び放課後児童クラブの運営支援のほか、育児不安の解消や児童虐待の防止のため、地域や関係機関と連携した相談・支援など、妊娠期から学齢期まで切れ目のない子育て支援の実施

● 高齢者、障害児・者への支援

地域包括ケアシステム構築に向けた区行動指針の改定及び着実な推進、地域ケアプラザ(地域包括支援センター)・基幹相談支援センター・生活支援センター・樽町地域ケアプラザ綱島分室での身近な相談機能の充実、高齢者虐待の予防、障害理解の啓発・支援者向けの研修などの実施

● 生活にお困りの方への支援

就労支援や家計相談など、生活の再建に向けた人的支援を中心に、地域による早期発見・見守りのためのネットワーク構築、関係機関との連携を実施

3 活気にあふれるまちづくり

● 港北区商店街活性化

商店街が自ら行う情報発信の支援や幅広い年代が参加できるイベント「ちょいつまみウォーク」の開催等による商店街振興

● ウォーキングから始まる健康づくり

「歩こう港北!健康ウォーキング」や「よこはまウォーキングポイント」利用促進イベントの実施、「港北区ウォーキング手帳」や雨の日でも歩きやすいウォーキングマップの発行、健康づくりに対する働き世代の機運醸成、健康測定会の開催

● 大規模スポーツイベント開催機運醸成とレガシー創出

地域や大学、企業、関係機関等と連携した小学生向けプログラムや区内施設等での各種イベント・機運醸成事業等の実施

● 港北エコアクションの推進

地球温暖化対策(緩和策・適応策)、鶴見川を活かした環境学習、まちの美化・緑化や、3Rの推進

協働で進めるまちづくり

● 地区担当制などによる協働の推進

地区担当制による地域課題の丁寧な把握や地域とのつながりの構築・強化による協働で進めるまちづくり

● 共感と信頼の行政の推進

協働の土台となる、区民の皆様との共感と信頼の関係を一層深めるための、ミスのない適正な事務処理と行政サービスの充実データに基づく政策立案等データ活用の推進、男女共同参画の視点を持った事業推進

・信頼される行政サービスの提供

戸籍・住民登録の手続や諸証明の発行、マイナンバーカードの交付、税の賦課・徴収、公金の出納、国民健康保険・国民年金、医療費助成などの手続・相談などの行政サービスの正確・丁寧な提供、未収債権の収納率向上による財源の安定的な確保

・住民サービスの向上

広報よこはま区版やホームページ、統計情報など、区民生活に身近な行政情報の的確な発信や区役所・公共施設の環境改善による利用者の快適性の向上